

まちづくり交付金 事後評価シート
岐阜市都心北部地区

平成20年12月

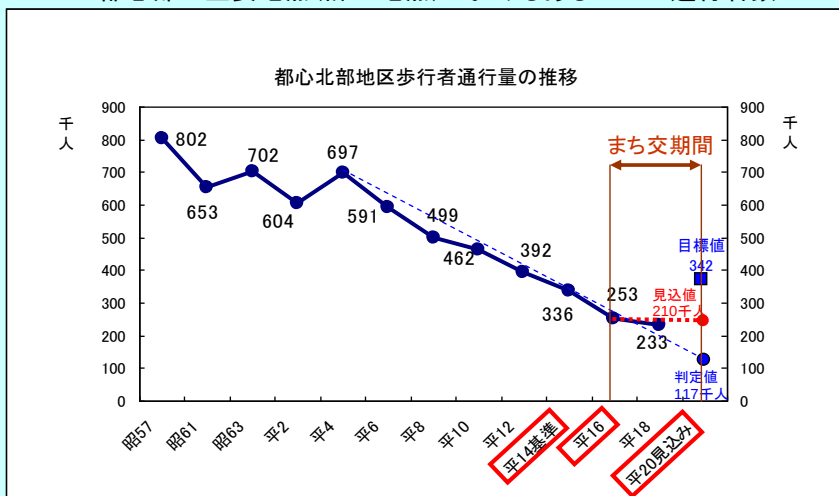
岐阜県岐阜市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	岐阜市(ぎふし)		地区名	岐阜市都心北部地区(ぎふしとしんほくぶちく)			面積		509ha	
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期		平成20年度		交付対象事業費		2987百万円	国費率	0.40		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
		基幹事業	道路事業のうち、ゆとり・やすらぎ道空間事業、地域生活基盤施設のうち岐阜駅高富線ほか情報板、高質空間形成施設のうち長良川プロムナード東材木町湊町線ほか、長良川プロムナード鶺鴒観覧ゾーンほか										
		提案事業	地域創造支援事業のうち金華山ルネッサンス事業、河川事業、事業活用調査(岐阜大学医学部等跡地利用計画策定)、まちづくり活動推進事業(ゆとり・やすらぎ道空間事業)										
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	道路事業のうち岐阜駅高富線(梶川工区)、高次都市施設のうち長良川ホテル跡地等				関連事業へ移行(都市計画決定手続き遅延、事業採算見込みによる再検討化による)			影響はない			
	提案事業	岐阜市観光交流施設整備事業(長良川ホテル跡地等)				関連事業へ移行(事業採算見込みによる再検討化による)			影響はない				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路 電線共同溝事業(東材木町湊町線)、地域生活基盤施設のうち川原町広場、岐阜公園周辺地区駐車場案内標識整備事業、岐阜公園サイン整備事業、高質空間形成施設のうち堤外駐車場スロープ等整備事業、ポケットパーク鶺鴒かがりトイレ改修整備事業、高次都市施設(観光交流センター2事業)、既存建造物活用事業(地域交流センター旧ばるるプラザ岐阜)				目標をより良く達成するため			影響はない			
提案事業		無電柱化事業、まちなか文学散歩プロジェクト推進事業、まちの魅力づくりプロジェクト推進事業、建替え相談システム事業、柳ヶ瀬再生支援事業、岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業、岐阜公園観光促進施設整備事業、岐阜公園周辺地区歴史的資源整備活用事業、駅前広場安全施設等整備事業、鶺鴒観覧船事務所外観整備事業、乗船場改修事業、中心市街地居住形態及び実現方策調査、事業活用調査(事業分析調査)				目標をより良く達成するため			影響はない				
交付期間の変更	当初	平成16～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
変更	変更なし												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	歩行者交通量	人	335,622	H14	342,000	H20	232,848	210,495	△	あり	歩行者交通量は都心北部地区としては減少傾向にあるが、柳ヶ瀬地区周辺等にて下げ止まりとなり、賑わいの再生へとつながっている。	H21年4月
				252,712	H16						なし		
	指標2	観光客の不満足度	%	6.4	H15	5	H20	1.5	1.1	○	あり	長良川プロムナード整備、景観整備、サイン事業等が効果発現を促し、他事業でも地区全体の街の魅力を創出し、観光客の満足度を向上させている。	
				3.5	H16						なし		
	指標3	商品販売額	億円	18,918	H14	19,800	H20	—	17,288	△	あり	全市の商品販売額であり、地区の経済指標を示すものではなく、地区単位での増減の確認が必要。関連事業の再開発事業等が未着手であり直接的な回復を実現できていない。提案事業では、中心市街地のまちづくりの気運の醸成に貢献している。	H24年6月
				17,106	H16						なし		
指標4	交流活動度	人	2,280,000	H14	2,500,000	H20	2,190,000	2,030,000	△	あり	広域コンベンションの参加者数を指標としているため、コンベンション需要、誘致の成否等、社会要因が大きい。	H21年8月	
			2,220,000	H16						なし			●
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	事業箇所近傍の歩行者交通量	人	51,930	H14			—	33,957	○		事業箇所近傍における歩行者交通量はH16年以降増加に転じており、賑わいの再生へとつながっている。	H21年4月
				35,102	H16								
	その他の数値指標2	地区内小売販売額	億円	2,103	H14			2,067	2,138	○		地区内小売商品販売額が下げ止まり、ソフト・ハード事業の連携により、賑わい回復に寄与している。	H24年6月
				2,067	H16								
その他の数値指標3	住民参加・イベント開催件数	件	—	—			—	27	○		事業に関連する住民参加やイベントが多数行われ、まちづくりの機運向上につながっている。		
参考 3)以外のその他の数値指標	その他の数値指標4	新規出店数	店	0	H16			—	9	○		長良川プロムナードの修景整備を機に、沿道周辺に次々と新規出店が進んでいる。	H21年8月
	その他の数値指標5	主要観光施設入場者数	人	599,000	H16								
	その他の数値指標6	プロムナード整備満足度	%	—	—								
4)定性的な効果発現状況	都市再生整備計画に予定していた住民参加以外にも、事業に関連する住民参加活動が実施され、かつまちづくりを継続的に展開する団体が構築されたなど、地域コミュニティが活性化し、まちづくりの気運が高まった。												
5)実施過程の評価		実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	H19年度にモニタリング実施。 ①事業進捗の確認、②指標の計測手法、達成見込み等の確認、③指標と事業の関係性(貢献度)の確認、④指標達成に向けての今後の対応策の検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	事業の目標達成への貢献について、次期計画でもモニタリングを実施する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	・川原町無電柱化推進協議会(川原町のみちづくりを考える会、道路デザイン検討会含む) ・鶺鴒屋景観まちづくり協議会、長良川プロムナード計画関連まちづくり協議会(長良川プロムナード)				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	認定中心市街地活性化基本計画に掲げるその他の事業との連携を図りながら今後も継続させる。		
		・岐阜文学散歩への市民参加、岐阜まち物語イベント ・柳ヶ瀬まちの魅力づくりプロジェクトチームワークショップ・イベント、 柳ヶ瀬プロデュースチーム検討会議				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
		・建替え相談、建替え意向調査、柳ヶ瀬地区建替え促進に関する意見交換会 ・まちづくりに関する意見交換会(金華地区・京町地区全自治会、御鮎街道沿線自治会等) ・都心北部地区まち				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
・川原町まちづくり会でのヒアリングにより広場計画に反映 ・堤外駐車場のバリアフリー化等に関する身体障がい者関係団体による点検(川原町広場・岐阜公園)				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●					
持続的なまちづくり体制の構築	ハード・ソフト両面のまちづくり活動を積極的に展開するため、(長良川プロムナードゾーン・川原町地区)2団体、(都心北部地区)1団体、(柳ヶ瀬周辺地区)4団体の組織活動を支援した				都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も認定中心市街地活性化基本計画のもと、各組織の活動を促進する。			
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

指標1 歩行者交通量

都心部の主要地点(計80地点)におけるある一日の通行者数



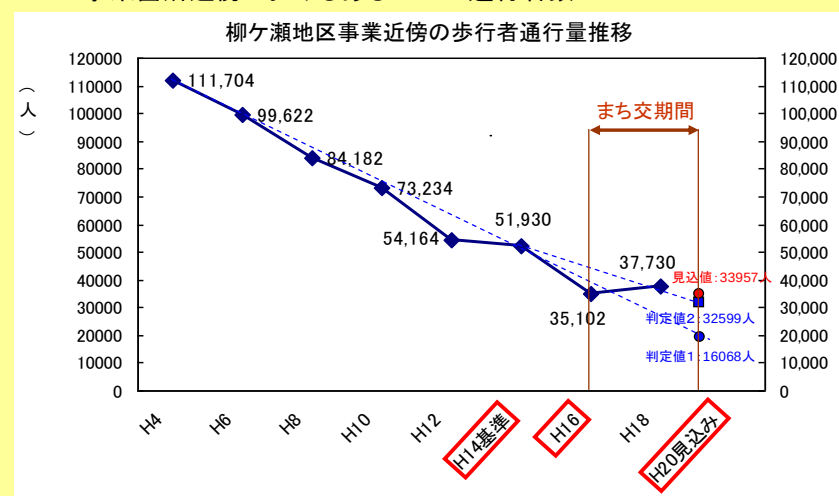
減少傾向にあるなか、まち交期間中にやや下げ止まり傾向に。

達成度△

計測地点
を事業
箇所近傍
に限定

その他指標1 事業箇所近傍の歩行者交通量

事業箇所近傍におけるある一日の通行者数

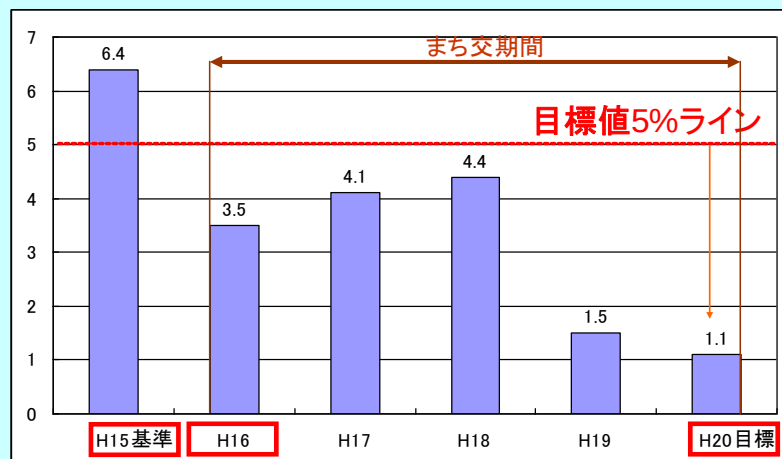


減少傾向にあるなか、まち交期間中に増加。

達成度○

指標2 観光客の不満足度

鵜飼観覧船全船にて毎年4回実施されている乗船客アンケート結果のうち、鵜飼総評について、「やや不満」及び「不満」の回答数を合算した値

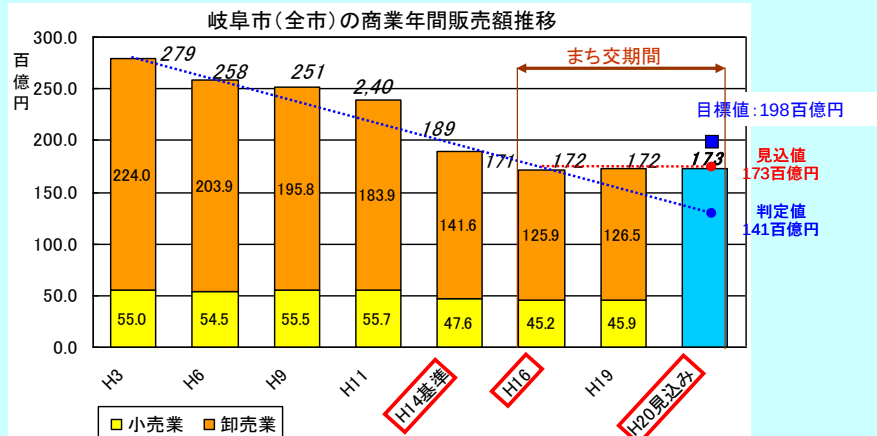


まち交事業実施後、大幅に不満足度が減少。

達成度○

指標3 商品販売額

1年間における商品の販売額として、商業統計調査における「1. 産業中分類別事業所数、従業者数、年間商品販売額」に記載されている「総数」



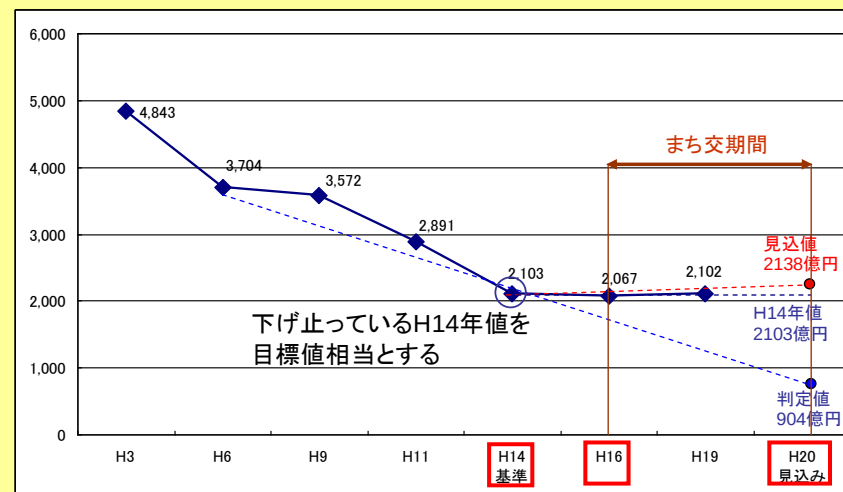
まち交事業実施後に下げ止まり、やや増加。

達成度△

地区内に限定

その他指標2 地区内小売販売額

1年間における地区内の商品の販売額として、商業統計調査における「1. 産業中分類別事業所数、従業者数、年間商品販売額」に記載されている「総数」

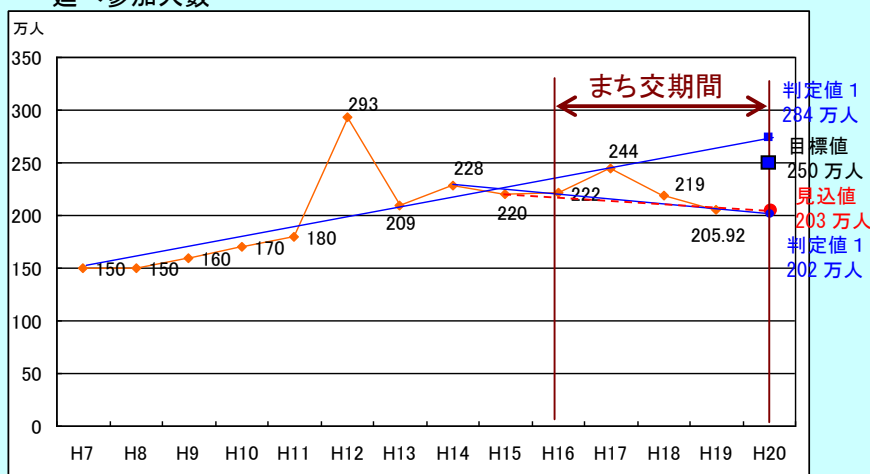


まち交期間中に下げ止まり、増加

達成度○

指標4 交流活動度

岐阜観光コンベンション協会が把握している市内コンベンションへの延べ参加人数



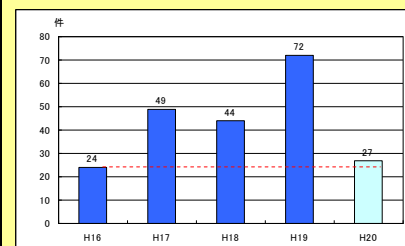
まち交事業実施後、減少傾向を示しつつもトレンドより上向きに。

達成度△

異なる側面のイベント参加人数

その他指標3 住民参加・イベント開催件数

住民参加イベントの開催件数で、事業の合意形成過程における住民参加件数も含んだ開催件数



事業名	H20開催件数
ゆとりやすらぎ道空間	4
地域生活基盤施設	1
高質空間形成施設	2
金華山遊歩道	8
まちなか文学散歩(文学散歩)	1
まちなか文学散歩(岐阜まち物語等)	4
まちの魅力づくり(柳ヶ瀬周辺地区)プロジェクトチーム・写真館	3
まちづくり活動支援	4

まち交事業を通じて、住民参加を多数実施。

達成度○

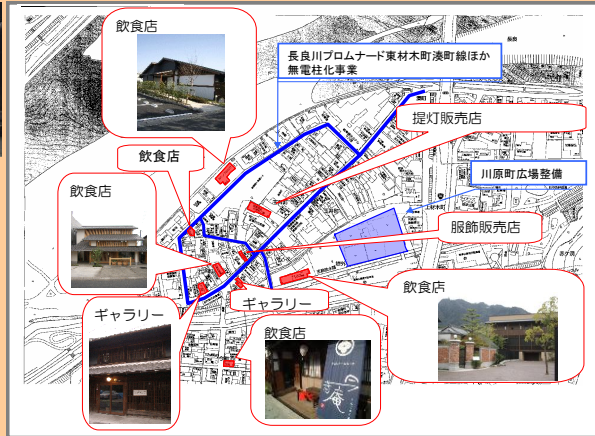
参考 その他指標4 新規出店数

(川原町地区でのH16年～H20年新規出店数)

長良川プロムナード沿道周辺で新規出店数 **9店舗**



長良川プロムナード 無電柱化事業

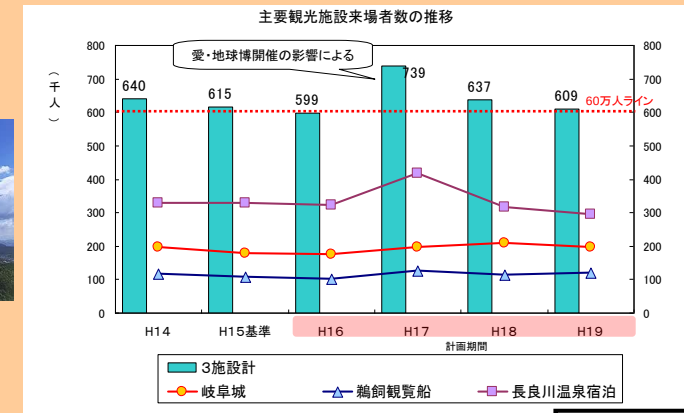


達成度○

参考 その他指標5 主要観光施設入場者数

(鵜飼観覧船、長良川温泉旅館、岐阜城の来訪者数)

平成14年～19年にかけて約60万人程度の**入り込み客数**を維持



達成度○

参考 その他指標6 プロムナード整備 満足度

(長良川プロムナードの整備内容に関する意向調査結果)

河畔道路が整備されたことによる満足度

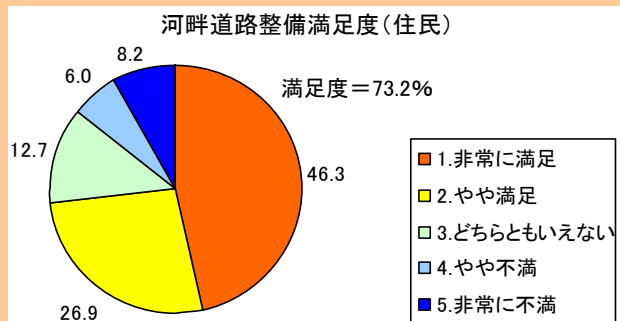
「非常に満足」と「やや満足」 約7割(73.2%)

問 河畔道路が整備されたことによる満足度はどれくらいですか

選択肢	割合(%)
1.非常に満足	46.3
2.やや満足	26.9
3.どちらともいえない	12.7
4.やや不満	6.0
5.非常に不満	8.2



長良川プロムナード鵜飼観覧ゾーンの整備



達成度○

様式2-2 地区の概要

岐阜市都心北部地区（岐阜県岐阜市）まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
■観光施設等の集客拠点やそこに誘導する幹線道路等を整備することにより、人口減少や商店街の閉鎖等に伴って活力を喪失した都心部を再生して街の賑わいを回復する。 ■歩行者優先の都心回遊路の整備等により、既存の都市基盤施設を活用した都心集約型の市街地環境を形成してコミュニティの再生を図る。 ■歴史・文化・自然を生かした市民協働型のまちづくりにより、安全で快適な市街地環境や魅力ある個性的な景観を創出する。	歩行者交通量	単位：人	335,622	H14	342,000	H20	210,495	H20
	観光客の不満足度	単位：％	6.4	H15	5	H20	1.1	H20
	商品販売額	単位：億円	18,918	H14	19,800	H20	17,288	H20
	交流活動度	単位：人	2,280,000	H14	2,500,000	H20	2,030,000	H20



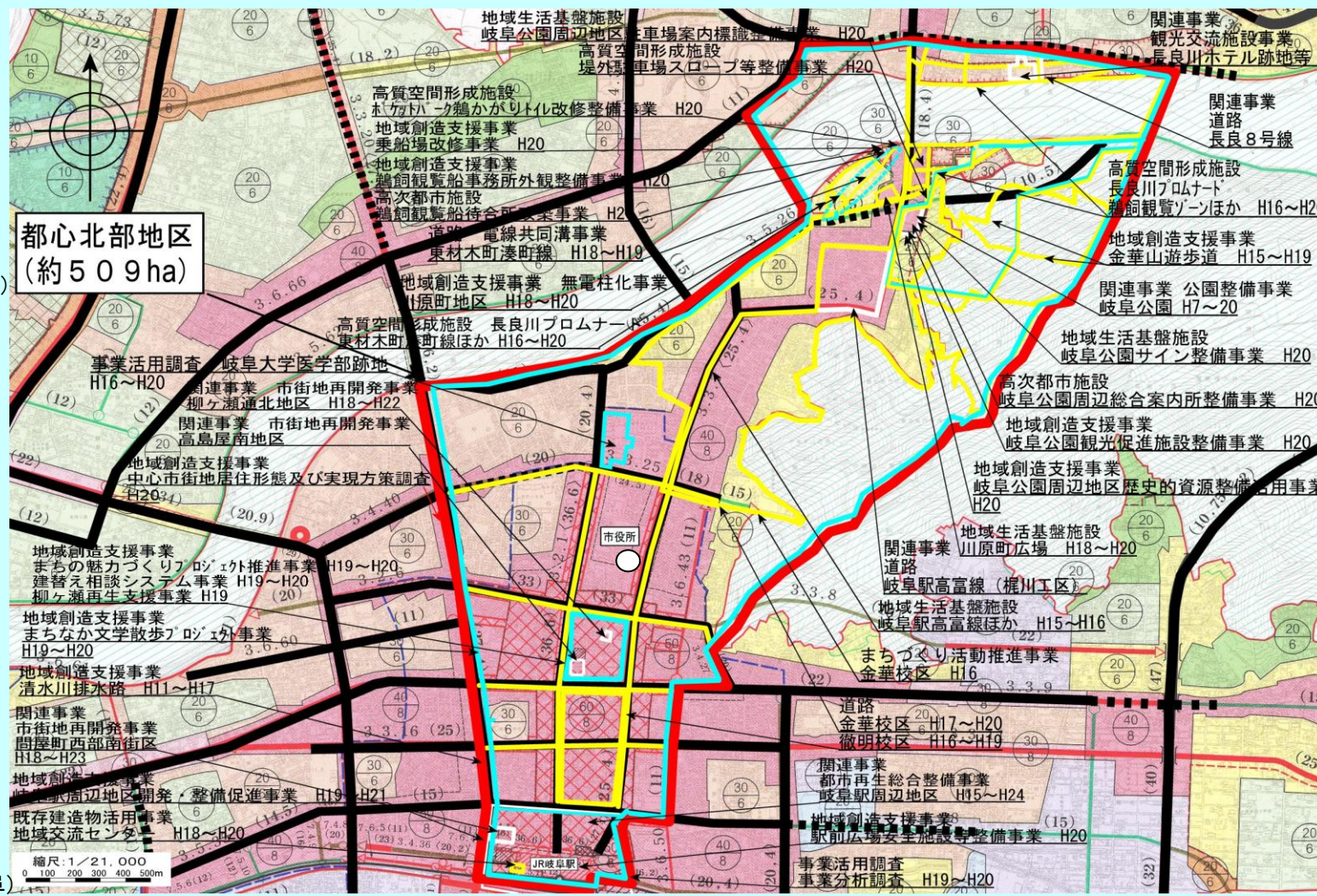
道路事業
ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華校区)



地域生活基盤施設
岐阜駅高富町線ほか情報板



既存建造物活用事業
地域交流センター(旧ぱるるプラザ岐阜)



高質空間形成施設
長良川プロムナード鵜飼観覧ゾーン



地域創造支援事業
まちなか文学散歩プロジェクト推進事業



地域創造支援事業
金華山ルネッサンス事業

まちの課題の変化	・都心北部地区内の年間小売販売額が下げ止まっている。 ・長良川プロムナード整備等により、鵜飼乗船客の不満足度が減少した。 ・快適な都心の道路の整備や案内情報板設置が実現し、回遊性が高まった。 ・多数の住民団体の活動によりコミュニティの活性化ができたことに加えて、景観づくりの主体となるまちづくり会等の活動が活発化した。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	・市民の交流拠点整備や市街地再開発事業等により、まちなか居住の推進を図る。 ・歩行者優先の都心回遊路の整備等により、歩行者の安全性及び市民生活の快適性と利便性の向上を図る。 ・歴史・文化を次世代へ継承する施設整備等により、市民や観光客のにぎわいの創出を図る。 ・市民協働型のまちづくり活動により、地域の魅力を再発見し、地域力の向上を図る。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	岐阜駅高富線(梶川工区)	715	500m	—	—	計画変更の遅れにより関連事業へ移行	影響なし	—	—
道路 電線共同溝事業	東材木町湊町線	—	—	102	電線共同溝整備390m	既存計画に基づき事業を追加	影響なし	●	
道路 ゆとり・やすらぎ道空間事業	徹明校区	45	1,338m	63	スムーズ歩道、路肩カラー舗装等1,460m	詳細測量及び地元との協議により、事業量の増加(H19完了予定)	影響なし	●	
道路 ゆとり・やすらぎ道空間事業	金華校区	60	3,900m	97.7	11路線交通安全施設等1,100m	整備手法の見直しによる事業量の精査、事業費の増加	影響なし		●
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	岐阜駅高富線ほか情報板	80	岐阜駅高富線ほか40基	63	岐阜駅高富線ほか情報板 30基	事業計画の見直しによる事業量の精査	影響なし	●	
	川原町広場	—	—	278	川原町広場0.48ha	岐阜公園周辺地区計画に基づく国有地取得・広場整備を追加	影響なし		●
	岐阜公園周辺地区駐車場案内標識整備事業	—	—	13	案内標識等 N=6基	観光促進のための事業追加	影響なし		●
	岐阜公園サイン整備事業	—	—	22.5	サイン等 N=3基	観光促進のための事業追加	影響なし		●
高質空間形成施設	長良川プロムナード東材木町湊町線ほか	443	3,860m	528	緑化施設等、車道1,070m	事業計画の精査による事業量及び事業費の増加	影響なし		●
	長良川プロムナード鵜飼観覧ゾーンほか				緑化施設等、コミュニティ道路3,410m				
	堤外駐車場スロープ等整備事業	—	—	13	スロープ等 N=3基	まち歩き促進のための事業追加	影響なし		●
	ポケットパーク鵜かがりトイレ改修整備事業	—	—	25	N=1棟	歩行支援施設、障がい者誘導施設の追加	影響なし		●

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高次都市施設	長良川ホテル跡地等	2,100	3,500㎡	—	—	事業計画の見直しにより関連事業へ移行	影響なし	—	—
	観光交流センター	—	—	40	岐阜公園周辺総合案内所整備事業	観光促進のための事業追加	影響なし		●
	観光交流センター	—	—	120	鵜飼観覧船待合所改築事業	観光促進のための事業追加	影響なし		●
既存建造物活用事業	地域交流センター(旧ぱるるプラザ岐阜)	—	—	1,134.4	多目的ホール、スタジオ、会議室等 10,214㎡	施設の保持・機能強化のための事業追加	影響なし		●
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	金華山ルネッサンス事業	81	金華山遊歩道 5,515.3m	13	金華山遊歩道 5,515.3m	事業内容の精査による整備・補修 方式の変更	影響なし	●	
	河川事業	249	清水川排水路 257.5m	189	清水川排水路 257.5m	事業費の精査による減額	影響なし	●	
	岐阜市観光交流施設整備事業	3015	長良川ホテル跡地等 5,000㎡	—	—	事業内容の精査により関連事業へ 移行	影響なし	—	—
	無電柱化事業	—	—	54	川原町地区390m (歴史的街並み保 全)	無電柱化事業と一体の引込管設備 整備を追加	影響なし		●
	まちなか文学散歩プロジェクト推進事 業	—	—	7	都心北部地区 509ha、歩きのテーマ に関わる写真・資料	認定中心市街地活性化基本計画の 事業として追加	影響なし		●
	まちの魅力づくりプロジェクト推進事 業	—	—	1	柳ヶ瀬周辺地区 9ha、昭和レトロの写 真の展示等	認定中心市街地活性化基本計画の 事業として追加	影響なし		●
	建替え相談システム事業	—	—	1	柳ヶ瀬周辺地区9ha 建替え計画コーデ ィネート	認定中心市街地活性化基本計画の 事業として追加	影響なし		●
	柳ヶ瀬再生支援事業	—	—	5	柳ヶ瀬周辺地区 9ha、都市模型・VR 作成	認定中心市街地活性化基本計画の 事業として追加	影響なし	●	
	岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	—	—	9	岐阜駅周辺地区 43ha、 地区の街模型・VR作 成	認定中心市街地活性化基本計画の 事業追加	影響なし		●
	岐阜公園観光促進施設整備事業	—	—	40	岐阜公園でのレンタサイ クル、門・信長像の整 備	観光促進のための事業追加	影響なし		●
	岐阜公園周辺地区歴史的資源整備 活用事業	—	—	10	岐阜公園等の活用 のための資料収集・ 計画作成等	観光促進に資する基本計画作成の ための事業追加	影響なし		●
	駅前広場安全施設等整備事業	—	—	30	岐阜駅周辺地区で の防犯カメラ等 N=9基等	防犯性向上のための事業追加	影響なし		●
	鵜飼観覧船事務所外観整備事業	—	—	34	歴史的な街並みであ る川原町の周辺景 観との調和	観光促進のための事業追加	影響なし		●
	乗船場改修事業	—	—	50	川原町の周辺景観と の調和を図り乗船場 の安全機能強化	観光促進のための事業追加	影響なし		●
事業活用調査	中心市街地居住形態及び実現方策 調査	—	—	18	中心市街地居住形 態調査。都心居住促 進方策立案	コンパクトで活力ある中心市街地を 形成するための事業追加	影響なし		●
	岐阜大学医学部等跡地利用計画策 定	8	岐阜大学医学部等 跡地利用計画策定 3.09ha	20	岐阜大学医学部等 跡地整備計画策定 3.09ha	整備計画への移行による委託項目 変更・事業費精査	影響なし		●
まちづくり 活動推進事業	事業分析調査	—	—	3	事業分析を行うため の委託料	事後評価の一環として調査業務を 追加	影響なし		●
	ゆとり・やすらぎ道空間事業	5	金華校区85.2ha	5	金華校区85.2ha、み ちづくり協議会の組 織化・コーディネー	変更無し	—	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
公園整備事業		岐阜公園	270	4,883	H16～H19	H7～H21	H21年度完成見込み	
市街地再開発事業		柳ヶ瀬通北地区	2,000	2,000	H16～H19	H18～H22	H20.1組合設立	
市街地再開発事業		問屋町西部南街区	—	17,000	—	H18～H23	H20.1組合設立	
市街地再開発事業		高島屋南地区	—	9,500	—	—	H21都市計画決定予定	
都市再生総合整備事業		岐阜駅周辺地区	—	2,643	—	H15～H24	H19年度末約70%完了 H24年度事業完了見込	
岐阜市観光交流施設整備事業		長良川ホテル跡地等	—	—	—	—	「長良川ホテル跡地等基本計画」を策定	
道路		長良8号線	—	—	—	—	—	
道路		岐阜駅高富線(梶川工区)	—	965	—	—	都市計画変更手続き中	

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
				単位		基準 年度		基準 年度							目標 年度	あり
指標1	歩行者交通量	人	都心北部地区歩行者通行量調査(～JR岐阜駅周辺から柳ヶ瀬地域まで～：岐阜市)による夏期休日歩行者通行量の全合計数	696,560	H4	335,622	H14	342,000	H20	モニタリング	H19	232,848	モニタリング	△		●
										事後評価	確定 見込み	●	210,495	事後評価		
指標2	観光客の不満足度	%	観光客に対するアンケート調査(年4回)の結果。鵜飼観覧船乗船客アンケート結果のうち、「鵜飼総評(本日の鵜飼はいかがでしたか。)」部分の「やや不満」及び「不満」の回答数を合算した値	-	-	6.4	H15	5	H20	モニタリング	H19	1.5	モニタリング	○		
										事後評価	確定 見込み	●	1.1	事後評価		
指標3	商品販売額	億円	商業統計調査に基づく岐阜市全市の商品年間販売額(卸売・小売の合計)	27,897	H3	18,918	H14	19,800	H20	モニタリング	H19	-	モニタリング	-		●
										事後評価	確定 見込み	●	17,288	事後評価		
指標4	交流活動度	人	岐阜市全市コンベンション延べ参加人数。東海4県以上から参加者があるもので、岐阜観光コンベンション協会「コンベンション開催件数調査のコンベンション開催件数」による	-	-	2,280,000	H14	2,500,000	H20	モニタリング	H19	2,190,000	モニタリング	×		●
										事後評価	確定 見込み	●	2,030,000	事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み			事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成16～18年度で下げ止まり、計画期間以前(H4～14)のトレンドから推計した平成20年度値117,000人を上回って、減少傾向が改善されているため。	—
指標2	不満度の目標値5%に対して、平成20年度では1.1%と大幅に改善され、目標が達成しているため。	—
指標3	平成16～18年度で減少から微増に転じ、改善されつつある。指標の商品販売額は、計画期間以前(H3～14)のトレンドから推計した平成20年度値14,144億円を上回って、減少傾向が改善されているため。	岐阜市全市の商品年間販売額(卸売、小売の計)で地区外を含む
指標4	計画期間以前(H7～H14)は増加で推移したものが、計画期間では概ね減少を辿っている。平成20年度の評価値2,030,000人が基準年度の従前値2,280,000人よりも低下する見通しのため。	岐阜市全市のコンベンション参加数で、地区外を含む

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
					基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標 1	事業箇所近傍の 歩行者交通量	人	事業箇所近傍におけるある一日の通 行者数(柳ヶ瀬地区の流入部及び、地 区内の中心を通る歩道)の歩行者交通 量	－	－	51,930	H14	モニタリング			事業箇所近傍の歩行者交通量 を測定することで、事業効果に よる交通量の下げ止まりを説明 する。	指標1を補完
								事後評価	確定 見込み	● 33,957		
その他の 数値指標 2	地区内小売販売額	億円	商業統計調査に基づく岐阜市都心北 部地区の小売り商品年間販売額	4,843	H3	2,101	H14	モニタリング			地区内の経済活動を示す指標 として、事業効果による商業機 能の回復を説明する。	指標3を補完
								事後評価	確定 見込み	● 2,138		
その他の 数値指標 3	住民参加・イベント開 催件数	件	住民参加イベントの開催件数で、事業 の合意形成過程における住民参加件 数も含んだ開催件数	－	－	－	－	モニタリング			まちづくりへの住民参加活動を 把握することで、地区の交流活 動を説明する。	指標4を補完
								事後評価	確定 見込み	● 27		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・事業に関連する住民参加活動が多数実施され、住民のまちづくり機運が高まった。例えば、まちなか文学散歩事業では「今日初めて参加してみて岐阜の町を改めてもう一度見直してみたい」や「若い人から年配の人まで一丸となつて、岐阜のまちづくりに協力して欲しい」などの意見があった。 また、まちづくりを継続的に展開する団体が構築された。 ・長良川プロムナード事業により、地域住民の道路に対する満足度があがった。 ・無電柱化事業等により、景観が向上した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3－① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
・定期的な事業評価 地域住民による事業の定期的な評価(アンケート等)を実施し、課題の把握と事業の方向性についての検討修正を行います。	予定どおり実施した	● ・H19年度にモニタリングを実施し、平成20年8月8日に事後評価委員にモニタリング報告会を行った。 ・事業進捗の確認 ・指標の計測手法、達成見込み等の確認 ・指標達成に向けての今後の対応策の検討	今後も定期的な事業評価を行う
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
・地域創造支援事業： 無電柱化事業（川原町地区） ・道路：電線共同溝事業（東材木町湊町線） ・高質空間形成施設：プロムナード整備（東材木町）	予定どおり実施した	●	・川原町無電柱化推進協議会（川原町のみちづくりを考える会、道路デザイン検討会含む） 【実施頻度】延12回（うち協議会：4回） 【実施時期】H16.11～H17.3 【実施結果】意見集約を経て施設計画に住民意向を反映し、無電柱化計画や川原町修景方針最終案を確認。また道路のデザイン及び街路灯のデザイン計画案を作成した	今後も地域住民と連携した事業を実施していきたい
	予定はなかったが実施した		・長良川プロムナード（鵜飼屋景観まちづくり協議会、長良川プロムナード計画関連まちづくり協議会） 【実施頻度】13回 【実施時期】H12～H18年度 【実施結果】水辺の景観、鵜飼観覧船に配慮したプロムナード施設へと意向を反映し地区全体の景観まちづくりについても同時に周知できた	
	予定したが実施できなかった (理由)			
地域創造支援事業： まちなか文学散歩プロジェクト推進事業（都心北部地区）	予定どおり実施した	●	・まちなか文学散歩（岐阜まち物語実行委員会） ① 岐阜文学散歩 【実施頻度】11回 【実施時期】H15～20年度 【実施結果】参加者数累計617人（H20年10月末時点）	認定中心市街地活性化基本計画に掲げるその他の事業との連携を図りつつ、今後も継続させていきたい
	予定はなかったが実施した		② 岐阜まち物語（第2幕含む） 【実施頻度】12回開催 【実施時期】H18～20 【実施結果】歴史・文化を生かし、主としてまちなか観光、再生を持続的に展開することができた	
	予定したが実施できなかった (理由)			
地域創造支援事業： まちの魅力づくりプロジェクト推進事業（柳ヶ瀬周辺地区）	予定どおり実施した	●	・柳ヶ瀬まちの魅力づくりプロジェクトチーム ①ワークショップ 【実施頻度】19回 【実施時期】H18.2～H19.4	認定中心市街地活性化基本計画に掲げるその他の事業との連携を図りつつ、今後も継続させていきたい
	予定はなかったが実施した		②柳ヶ瀬プロデュースチーム 【実施頻度】11回（H20年10月末時点） 【実施時期】H19～H20年度	
	予定したが実施できなかった (理由)		③まちなか写真館イベント 【実施頻度】6回 【実施時期】H19～H20年度 【実施結果】まちの回遊性を高め、まちなか観光を活発化することができた	

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
地域創造支援事業： 建替え相談システム事業（柳ヶ瀬周辺地区）	予定どおり実施した	●	・建替え相談システム 【実施頻度】5件 【実施時期】H18.2～H19.5	認定中心市街地活性化基本計画に掲げる その他の事業との連携を図りつつ、今後も 継続させていきたい
	予定はなかったが実施した		・建替え意向調査 【実施頻度】1回 【実施時期】H19.9 【調査数】（対象）柳ヶ瀬地区建物所有者、（回収数）105票	
	予定したが実施できなかった （理由）		・柳ヶ瀬地区建替え促進に関する意見交換会 【実施頻度】1回 【実施時期】H19.12 【参加数】（対象）柳ヶ瀬地区建物所有者、（参加者数）23人 【実施結果】柳ヶ瀬地区建物所有者に対し建替えに関する意識を醸成することができた	
まちづくり活動推進事業： ゆとりやすらぎ道空間（金華地区）	予定どおり実施した	●	・都心北部地区まちづくり計画策定検討委員会（学識経験者、地元代表者、 関係行政機関により構成） 【実施頻度】3回 【実施時期】H16年度（計3回）を開催。平成16年度 【実施結果】委員会策定計画を踏まえながらまち交を実施	まちづくり事業の実施に当たっては、事業 説明会や意見交換会を開催し、意見反映に 努める。
	予定はなかったが実施した		・金華地区と京町地区の全自治会長を集め、まちづくりに関する意見交換会 【実施頻度】9回 【実施時期】H17～H20年度 【実施結果】計画案を周知、地域意向を反映して事業化できた	
	予定したが実施できなかった （理由）		・御鮎街道に関する意見交換会（沿線自治会等） 【実施頻度】4回 【実施時期】H20.5～H20.7 【実施結果】計画案を周知、沿線自治会意向を反映して事業化できた	
地域生活基盤施設事業： 川原町広場 （川原町まちづくり会の開催）	予定どおり実施した		・「川原町まちづくり会」地域生活基盤施設「川原町広場」関係 【実施頻度】ヒアリング9団体、総会1回 【実施時期】H19.3～H19.4 【実施結果】地区関係団体意向を広場計画に反映した	特になし
	予定はなかったが実施した	●	・身体障がい者関係団体による、堤外駐車場から川原町、岐阜公園を結ぶ通 路のバリアフリー点検 【実施頻度】2回 【実施時期】H20年度8月～9月 【実施結果】身体障がい者等の点検により、施設計画を改善した。	
	予定したが実施できなかった （理由）			

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
(継続的なまちづくり活動の推進) 事業完了後は、整備後の道路等を地域の社会資産として有効に活用するために、既存のまちづくり組織(鵜飼屋景観まちづくり協議会ほか3団体)を中心にして、街並み整備やイベント開催等のハード・ソフト両面のまちづくり活動を積極的に展開することにより、地域の活性化を推進していきます。	予定どおり実施した	●	(長良川プロムナードゾーン 川原町地区) 既往のまちづくり組織(鵜飼屋景観まちづくり協議会)の計画策定参加	(長良川プロムナードゾーン、川原町地区) A) 鵜飼屋景観まちづくり協議会: (構成員)長良南町、西鵜飼、西浦町、弁天町、大前町の南部、東鵜飼、八幡町、旭町、築地町の住民、計250名 (役割)良好な都市景観の形成のための検討等	今後も地域住民と連携した事業を実施していきたい
	予定はなかったが実施した			B) 川原町まちづくり会 (構成員)計19名 (役割)地区関係団体の意向を川原町広場の計画に反映・検討など	
	予定したが実施できなかった(理由)				
地元自治会などからなる岐阜まち物語実行委員会	予定どおり実施した		(都心北部地区) ・「岐阜まち物語実行委員会」をH18.8に設立	(都心北部地区) C) 岐阜まち物語実行委員会 (構成員)地元自治会、商店街、まちづくり団体、(財)にぎわいまち公社等、46名 (役割)イベント実行組織	
	予定はなかったが実施した	●			
	予定したが実施できなかった(理由)				
・地元住民からなる柳ヶ瀬プロデュースチーム ・商店街代表などからなる柳ヶ瀬本通り会アーケード建設委員会	予定どおり実施した		(柳ヶ瀬周辺地区) ・H18.2発足「柳ヶ瀬まちの魅力づくりプロジェクトチーム」、H18.1設立「都心再生協議会」を再編・強化し「柳ヶ瀬プロデュースチーム」をH19.8に設立 ・柳ヶ瀬本通り会アーケード建設委員会をH19.1に設置した他、他の2地区においてH19.10～11に事業化検討組織設立	(柳ヶ瀬周辺地区) D) 柳ヶ瀬プロデュースチーム:(構成員)中心市街地関連地元組織代表・(財)にぎわいまち公社等、約20人、(役割)にぎわい創出事業実施、戦略企画立案 E) 柳ヶ瀬本通り会アーケード建設委員会:(構成員)柳ヶ瀬本通り商店街代表、11人、(役割)アーケードリニューアル・本通り活用策検討 F) 日ノ出町商店街まちづくり戦略会議:(構成員)商店街振興組合組合員有志、約20人、(役割)日ノ出通り景観統一整備事業・日ノ出町商店街アーケード改築事業等の協議 G) レンガ通り商店街発展協議会:(構成員)商店街振興組合組合員、約30人、(役割)レンガ通り景観統一整備事業を含むまちづくり全般の協議	今後も認定中心市街地活性化基本計画のもと、各組織の活動を促進させていきたい
	予定はなかったが実施した	●			
	予定したが実施できなかった(理由)				

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
岐阜市まちづくり交付金 庁内検討会	企画部 商工観光部 農林部 都市防災部 まちづくり推進部 基盤整備部 教育委員会 都市建設部 の関係各課	平成20年10月7日	都市建設部 拠点整備課

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		その他指標1		その他指標2		その他指標3	
指 標 名		観光客の不満足度		事業箇所近傍の歩行者交通量		地区内小売販売額		イベント開催件数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路 電線共同溝事業・東材木町湊町線	○	長良川プロムナード整備、周辺地区の景観整備、サイン事業等が効果発現を促した。その他の事業も地区全体の街の魅力を向上させ、総合的に観光客の不満足度を向上させている。	-	市全体では、減少傾向にあるが、事業実施箇所の近傍においては、下げ止まり傾向となり、まちの賑わいの再生へとつながっている。	○	地区内小売商品販売額が下げ止まり傾向となり、ソフト・ハード事業の連携により、まちのにぎわいの回復に寄与している。	◎	事業に関連する住民参加やイベントが多数行われ、まちづくりの機運向上につながっている。
	道路 ゆとり・やすらぎ道空間事業・徹明校区	-		◎		○		◎	
	道路 ゆとり・やすらぎ道空間事業・金華校区	○		-		○		◎	
	道路 岐阜駅高富線(梶川校区)	-		-		-		-	
	地域生活基盤施設・岐阜駅高富線ほか情報板	○		◎		○		-	
	地域生活基盤施設・川原町広場	○		-		○		◎	
	地域生活基盤施設・岐阜公園周辺地区駐車場案内標識整備事業	○		-		-		-	
	地域生活基盤施設・岐阜公園サイン整備事業	○		-		-		-	
	高質空間形成施設・長良川プロムナード東材木町湊町線ほか	○		-		○		◎	
	高質空間形成施設・長良川プロムナード鵜飼観覧ゾーンほか	◎		-		○		◎	
	高質空間形成施設・堤外駐車場スロープ等整備事業	○		-		-		◎	
	高質空間形成施設・ポケットパーク鵜かがりトイレ改修整備事業	○		-		-		◎	
	高次都市施設・観光交流センター・岐阜公園周辺総合案内所	○		-		○		-	
	高次都市施設・観光交流センター・鵜飼観覧船待合所改築	◎		-		○		-	
	高次都市施設・長良川ホテル跡地等	-		-		-		-	
	既存建造物活用事業・地域交流センター(旧ばるるプラザ岐阜)	-		○		○		◎	
提案事業	地域創造支援事業 金華山ルネッサンス事業・金華山遊歩道	○		-		-		◎	
	地域創造支援事業 河川事業・清水川排水路	-		○		-		-	
	地域創造支援事業 岐阜市観光交流施設整備事業 長良川ホテル跡地等	-		-		-		-	
	地域創造支援事業 無電柱化事業・川原町地区	○		-		○		◎	
	地域創造支援事業 まちなか文学プロジェクト推進事業・都心北部地区	○		◎		○		◎	
	地域創造支援事業 まちの魅力づくりプロジェクト推進事業・柳ヶ瀬周辺地区	-		◎		○		◎	
	地域創造支援事業 建替え相談システム事業・柳ヶ瀬周辺地区	-		-		○		◎	
	地域創造支援事業 柳ヶ瀬再生支援事業・柳ヶ瀬周辺地区	-		○		○		◎	
	地域創造支援事業 岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	-		-		○		◎	
	地域創造支援事業 岐阜公園観光促進施設整備事業	○		-		○		-	
	地域創造支援事業 岐阜公園周辺地区歴史的資源整備活用事業	○		-		-		◎	
	地域創造支援事業 駅前広場安全施設等整備事業	-		◎		-		-	
	地域創造支援事業 鵜飼観覧船事務所外観整備事業	◎		-		○		-	
	地域創造支援事業 乗船場改修事業	◎		-		○		-	
	地域創造支援事業 中心市街地居住形態及び実現方策調査	-		○		○		○	
	事業活用調査 岐阜大学医学部等跡地利用計画策定・岐阜大学医学部跡地	-		-		-		○	
	まちづくり活動推進事業 ゆとり・やすらぎ道空間事業・金華校区	○		-		-		-	
	事業分析調査	○		○		○		○	
関連事業	公園整備事業・岐阜公園	○		-		○		◎	
	市街地再開発事業・柳ヶ瀬通北地区	-		◎		◎		○	
	市街地再開発事業・問屋町西部南街区	-		◎		◎		○	
	市街地再開発事業・高島屋南地区	-		◎		◎		○	
	都市再生総合整備事業・岐阜駅周辺地区	-		◎		◎		○	
	岐阜市観光交流施設整備事業 長良川ホテル跡地等	-		-		-		-	
	道路 長良8号線	-		-		-		-	
	岐阜市観光交流施設整備事業・長良川ホテル跡地等	○		-		○		○	
	道路・長良8号線	○		-		-		-	
	道路・岐阜駅高富線(梶川工区)	○		-		-		○	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	・鵜飼サービスの向上(観光客数の増加等)につながる周辺整備を今後も継続していく。	今後も柳ヶ瀬地区における事業を推進し、歩行者交通量の維持を図るとともに、まちの賑わいの再生へとつなげていく。	・商品販売額に直接的に貢献する再開発事業等の進捗及び効果を随時確認し、基幹・提案事業との連携を図っていく。 ・提案事業については、一層の事業促進を図り、効果の早期発現を目指す。	・今後も事業実施の際には住民参加を多角的に取り入れることで、住民参加型まちづくりの構築を推進していく。
-------	--	--	---	---

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標3			指標4					
指 標 名		歩行者交通量			商品販売額			交流活動度					
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業	道路 電線共同溝事業・東材木町湊町線	－	歩行者交通量は都心北部地区全体としては、減少傾向にあるが、柳ヶ瀬地区など事業実施箇所の周辺において、下げ止まり傾向となり、まちの賑わいの再生へとつながっている。	I	△	全市の商品販売額であり、地区の経済指標を示すものではないため、地区単位での増減の確認が必要である。関連事業の再開発事業等が未着手であるため直接的な回復を実現できていない。提案事業は、中心市街地のまちづくりの気運の醸成に貢献している。	III	－	広域コンベンションの参加者数を指標としているため、コンベンション需要、誘致の成否等、社会要因が大きい。	III			
	道路 ゆとり・やすらぎ道空間事業・徹明校区	△			△			－					
	道路 ゆとり・やすらぎ道空間事業・金華校区	－			△			－					
	道路 岐阜駅高富線（梶川校区）	－			－			－					
	地域生活基盤施設・岐阜駅高富線ほか情報板	△			△			×					
	地域生活基盤施設・川原町広場	－			△			－					
	地域生活基盤施設・岐阜公園周辺地区駐車場案内標識整備事業	－			－			－					
	地域生活基盤施設・岐阜公園サイン整備事業	－			－			－					
	高質空間形成施設・長良川プロムナード東材木町湊町線ほか	－			△			－					
	高質空間形成施設・長良川プロムナード鵜飼観覧ゾーンほか	－			△			－					
	高質空間形成施設・堤外駐車場スロープ等整備事業	－			－			－					
	高質空間形成施設・ポケットパーク鵜かがりトイレ改修整備事業	－			－			－					
	高次都市施設・観光交流センター・岐阜公園周辺総合案内所	－			△			×					
	高次都市施設・観光交流センター・鵜飼観覧船待合所改築	－			△			×					
	高次都市施設・長良川ホテル跡地等	－			－			－					
提案事業	既存建造物活用事業・地域交流センター（旧ぼるるプラザ岐阜）	△			△			×			×		
	地域創造支援事業 金華山ルネッサンス事業・金華山遊歩道	－			－			－			－		
	地域創造支援事業 河川事業・清水川排水路	△			－			－			－		
	地域創造支援事業 岐阜市観光交流施設整備事業 長良川ホテル跡地等	－			－			－			－		
	地域創造支援事業 無電柱化事業・川原町地区	－			△			－			－		
	地域創造支援事業 まちなか文学プロジェクト推進事業・都心北部地区	△			△			－			－		
	地域創造支援事業 まちの魅力づくりプロジェクト推進事業・柳ヶ瀬周辺地区	△			△			－			－		
	地域創造支援事業 建替え相談システム事業・柳ヶ瀬周辺地区	－			△			－			－		
	地域創造支援事業 柳ヶ瀬再生支援事業・柳ヶ瀬周辺地区	△			△			－			－		
	地域創造支援事業 岐阜駅周辺地区開発・整備促進事業	－			△			－			－		
	地域創造支援事業 岐阜公園観光促進施設整備事業	－			△			－			－		
	地域創造支援事業 岐阜公園周辺地区歴史的資源整備活用事業	－			－			－			－		
	地域創造支援事業 駅前広場安全施設等整備事業	△			－			－			－		
	地域創造支援事業 鵜飼観覧船事務所外観整備事業	－			△			－			－		
	地域創造支援事業 乗船場改修事業	－			△			－			－		
	地域創造支援事業 中心市街地居住形態及び実現方策調査	△			△			－			－		
	事業活用調査 岐阜大学医学部等跡地利用計画策定・岐阜大学医学部跡地	－			－			×			×		
	まちづくり活動推進事業 ゆとり・やすらぎ道空間事業・金華校区	－			－			－			－		
	事業分析調査	△			△			×			×		
関連事業	公園整備事業・岐阜公園	－			△			×			×		
	市街地再開発事業・柳ヶ瀬通北地区	×			×			－			－		
	市街地再開発事業・問屋町西部南街区	×			×			－			－		
	市街地再開発事業・高島屋南地区	×			×			－			－		
	都市再生総合整備事業・岐阜駅周辺地区	×			△			－			－		
	岐阜市観光交流施設整備事業 長良川ホテル跡地等	－			－			－			－		
	道路 長良8号線	－			－			－			－		
	岐阜市観光交流施設整備事業・長良川ホテル跡地等	－			×			－			－		
	道路・長良8号線	－			－			－			－		
	道路・岐阜駅高富線（梶川工区）	－			－			－			－		

※目標未達成への影響度

× ×：事業が効果を発揮せず、

指標の目標未達成の直接的な原因となった。

×：事業が効果を発揮せず、

指標の目標未達成の間接的な原因となった。

△：数値目標が達成できなかった中でも、

ある程度の効果をあげたと思われる。

－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

改善の方針
（記入は必須）

事業箇所近傍に絞るなど、次期計画において核的な吸引施設の整備を推進していく。

・商品販売額に直接的に貢献する再開発等が未着手である影響もあり、大きな改善は見られなかったが、今後は一層の事業促進を図り、効果の早期発現を目指していく。

・観光交流活動及びまち歩きによる交流活動を推進するため、観光関連事業の事業進捗を図っていく。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5ー① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
岐阜市まちづくり交付金 庁内検討会	企画部 商工観光部 農林部 都市防災部 まちづくり推進部 基盤整備部 教育委員会 都市建設部 の関係各課	平成20年10月7日	都市建設部 拠点整備課

添付様式5ー② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
■疲弊した都心商業業務ゾーンの再生並びに都市型観光拠点の整備による交流人口の増加と市街地の活性化促進	・都心北部地区内の年間小売販売額が下げ止まっている。 ・長良川プロムナード整備等により、鵜飼乗船客の満足度が上がった	・歩行者交通量や交流活動度からみると交流人口の増加等がみられないため、核的な施設整備の実現と長期的視野での事業継続	特になし
■魅力的な都心生活圏の創出による居住人口の増加とコミュニティの再生	・多数の住民団体の活動によりコミュニティの活性化ができた	・居住人口の回復へ向けた方策の実施	
■クルマ優先の郊外発展型基盤整備から都心部における歩行者優先の回遊ネットワーク整備への転換によるヒューマンスケール型まちづくりの推進	・快適な都心の道路の整備や案内情報板設置	・他路線におけるみちづくり事業による快適な都心の道路の整備	
■画一的で非個性的な街並みから地域固有の自然・歴史・文化を活かした個性的な景観の創出	・景観づくりの主体となるまちづくり会等の活動が活発化した ・川原町・東材木町等の道路修景、無電柱化事業	・景観の保全創出を図るための建築物の形態規制や歴史的建造物の修繕及び一般建築物の修景に係わる助成など、民有地における景観整備・誘導	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5－③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	・都心北部地区内の年間小売販売額が下げ止まっている。	・都心商業の下げ止まり状況から、さらに、回復を確かなものにしていく。	・市街地再開発事業 ・市民ホールや市民活動の交流を促進する施設等の整備
	・長良川プロムナード整備等により、鵜飼乗船客の満足度が上がった	・観光客不満度の大幅な改善効果を持続させるため、鵜飼観覧船事業の充実化を図る。	・鵜飼観覧船事業
	・多数の住民団体の活動によりコミュニティの活性化ができた	・多数の住民団体活動プロセスの効果をふまえ、住民活動と事業との継続的な連携を図る。	・まちなか文学散歩プロジェクト推進事業 ・まちの魅力づくりプロジェクト推進事業 ・ゆとり・やすらぎ道空間事業
	・快適な都心の道路の整備や案内情報板設置	・みちづくり事業による快適な都心の道路の整備や案内情報板設置の効果を拡大するため、人にやさしい道路整備の継続を図る。	・無電柱化事業 ・ゆとり・やすらぎ道空間事業 ・安心・安全歩行エリア整備事業 ・プロムナード整備事業
	・景観づくりの主体となるまちづくり会等の活動が活発化した ・川原町・東材木町等の道路修景、無電柱事業	・川原町・東材木町等の道路修景による街並み整備が実現しつつあるなか、更なるまちづくり会の活動の推進を図る	・まちなか文学散歩プロジェクト推進事業 ・まちの魅力づくりプロジェクト推進事業
B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歩行者交通量や交流活動度からみると交流人口の増加等がみられないため、核的な施設整備の実現と長期的視野での事業継続	都心商業の下げ止まり状況から、さらに回復を確かなものにしていくため、再開発事業や核的施設の導入の推進を図る。	・市街地再開発事業 ・市民ホールや市民活動の交流を促進する施設等の整備
		・観光施設の核及びその周辺施設の整備	・長良川うかい広場の観光関連施設の整備 ・歴まち法等とも連携させた歴史を生かしたまちなみの整備
		・住民まちづくり活動の推進や無電柱化などの道路修景を推進する	・まちなか文学散歩プロジェクト推進事業 ・まちの魅力づくりプロジェクト推進事業 ・無電柱化事業 ・ゆとり・やすらぎ道空間事業
	居住人口の回復へ向けた方策の実施	・居住人口の回復に向け、再開発事業の積極的な推進や建替え相談システム事業などを積極的に活用する。	・市街地再開発事業 ・建替相談システム事業などの積極的な活用 ・ゆとり・やすらぎ道空間事業
	他路線におけるみちづくり事業による快適な都心の道路の整備	・無電柱化などの道路修景を推進する	・無電柱化事業 ・ゆとり・やすらぎ道空間事業 ・安心・安全歩行エリア整備事業 ・プロムナード整備事業
・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		景観の保全創出を図るための建築物の形態規制や歴史的建造物の修繕及び一般建築物の修景に係わる助成など、民有地における景観整備・誘導	・景観形成市民団体等の支援 ・景観形成のためのルール作り（景観計画等） ・景観重要建造物の指定等 ・ぎふ景観まちづくりファンド事業（助成制度） ・景観まちづくりに係る勉強会

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4－②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5－②）を再確認した。

添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・活発であった住民参加活動は、次期計画につなげていくことが重要である ・住民活動の活性化について、次期計画の目標とし、指標としても検討する。

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・観光客不満足度、地区内商品販売額は成果が上がっており、再生・回復に寄与できた。	・社会経済要因に繋がっている数値指標は、状況悪化の場合、下げ止まり目標とする等の現実的な対応を慎重に行う。 ・次期計画に際しては、住民活動の活性化もまちづくりの目標とし指標についても検討する。
	うまくいかなかった点	・交流の指標であるコンベンション参加人数は下げ止まらなかった。コンベンション需要、誘致の成否等社会要因が大きく、指標と事業の関連に課題があった。 ・「地域活性化として住民コミュニティの活動そのものも重要な評価事項である」と事後評価委員会にて意見を頂いた。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・歩行者交通量、観光客の不満足度、地区内商品販売額、主要観光施設来場者数は目標と整合できた。	・指標の選定について地区の固有の数値がとれ、かつ、目標と整合するものとする。 ・事後評価委員会の意見や指摘を受けて、満足度調査は調査対象を限定的にしないようにする。
	うまくいかなかった点	・商品販売額、交流活動度は、岐阜市全市を対象とする指標であり、地区内の成果を示すものとしては直接的ではなかった。 ・「満足度調査は鵜飼乗船客以外の観光客も対象とすべきではないか」と事後評価委員会にて意見を頂いた。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・数多くの住民参加を予定し実施したため、事業化の合意形成を地元主体で実施できた。	・住民参加はまちづくりに不可欠であり、次期計画についても積極的に取り組む。
	うまくいかなかった点	・特に無し	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・事後評価はH19年度モニタリングを経て、庁内横断組織として庁内検討会を実施し、担当課同士で課題を共有し、改善方策等について多角的に検討できた。	次期計画でもモニタリングを実施し、事業の軌道修正を図りながら進める。また庁内検討組織についても、継続して開催して進めていく。
	うまくいかなかった点	・特に無し	
その他	うまくいった点	・特に無し	・次期計画では、まちづくり交付金事業と既存の大規模プロジェクトとの関連性も、明確にしていすべき。
	うまくいかなかった点	・特に無し	

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後活用を予定している地区
次期計画として、岐阜都心地区、境川周辺地区での事業実施を予定している。

・事後評価を予定している地区
H21年度に鷺山地区、加納地区の2地区、H23年度に岐阜市柳津地区において事後評価の実施を予定している。

当地区の事後評価の経験を踏まえて、円滑に事後評価を実施していく。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに原案を掲載	平成20年10月22日～11月4日(2週間)	平成20年10月22日～11月4日(2週間)	担当課窓口、担当課への意見書提出の他、電話、FAX、電子メールにより受け付ける	都市建設部 拠点整備課
広報掲載・回覧・個別配布	市広報誌に、市のホームページ及び担当課窓口で原案を公表している旨を掲載	平成20年10月15日号	平成20年10月22日～11月4日(2週間)		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	担当課窓口において原案閲覧	平成20年10月22日～11月4日(2週間)	平成20年10月22日～11月4日(2週間)		

住民の意見	特になし
-------	------

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	竹内伝史 岐阜大学地域科学部 教授 柳田良造 岐阜市立女子短期大学生生活デザイン学科 教授	平成20年11月12日	都市建設部 拠点整備課	岐阜市まちづくり交付金評価委員会要綱	独自に設置
その他の委員	赤塚昌紀 明徳自治会連合会長 伊藤泰雄 伊奈波界限まちづくり会事務局長 鉾山勉 岐阜県技術士会				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	○方法書に従って事後評価が進められたことが確認された。
	成果の評価	・その他指標3「イベントの開催件数」は、指標4「交流活動度」と同じように、人数で評価することが妥当ではないかと思う。 ・満足度調査は鵜飼乗船客以外の人の意見も聞かべきだったのではと思う。(何らかの調査アンケート方法で、例えば電話などの抽出調査など)
	実施過程の評価	・住民の方々の活動自体がひとつの目標、目的なのではないかと思う。 ・今後は地域コミュニティの活性化度を示す指標を検討すべきではないか。 ・地域活性化とは、ショッピング等での人の流れが大きくなることだけでなく、地域社会・コミュニティの活動が活発になることでもあり、それを目標とできる。
	効果発現要因の整理	・指標4「交流活動度」は、◎、○が少なく、事業評価に適切な指標ではなかった。 ・指標2「観光客の不満足度」は、◎が乏しく、一部の事業を評価する指標になっているのではないか。
	事後評価原案の公表の妥当	・特に無し
	その他	・特に無し
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	○事後評価の手続きは妥当であったことが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・地区の歴史的な背景が明確なところでは、歴史まちづくりの新しい制度ができていますので、次のステップでそういう方向を強化して取り組んではどうか。 ・観光面では、鵜飼だけではなく、整備された交通網により近隣地域と連携して色々な観光ルートをつくるのが重要。また、鵜飼観覧船に乗らない人に、鵜飼をどう理解し、どう鑑賞して頂くのかを考えていくべき。 ・柳ヶ瀬地区ではイベントもやがて底をつくため、核となる施設と継続的な行事がないと、人の流れができない。
	フォローアップ	・次期計画では新しい指標も必要 ・コミュニティ活動の活発度は、定性的評価だけでなく、指標として示せるか検討して欲しい
	その他	○特に無し
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	○本評価委員会の意見を踏まえることで、概ね妥当として確認された。
その他		・次期計画では、まちづくり交付金事業と既存の大規模プロジェクトとの関連性も明確にしていくべき。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
竹内伝史 岐阜大学地域科学部 教授	平成20年4月2日	拠点整備課
竹内伝史 岐阜大学地域科学部 教授	平成20年5月13日	拠点整備課
竹内伝史 岐阜大学地域科学部 教授	平成20年10月8日	拠点整備課
竹内伝史 岐阜大学地域科学部 教授	平成20年11月5日	拠点整備課

有識者の意見	【指標について】 ・「商品販売額」については、まちづくり交付金事業実施直後に効果が出るようなものではなく、2～3年のはかかるので、事業完了時及び事後評価時に効果を期待することは難しい。 【その他指標の設定について】 ・まちづくり交付金事業の実施前に評価値が0である「新規施設の入場者数」などを取り入れるのは、指標として公平ではない。 ・「交通事故件数」については、全国的に事故件数が減少傾向にあるなか、まち交事業の効果のみで減少したと評価することは難しい。それより、交通事故の危険性(ヒヤリハット)を感じなくなったなどの効果をアンケート調査などで確認することが考えられる。 ・都心での事業であれば、「話題性」を指標とし、新聞などで事業が取り上げられた数(記事の数)などを評価することも考えられる。 ・住民が役所を頼らず住民参加、コミュニティ活動することが成果である。(ソーシャルキャピタル) 【効果発現要因の整理について】 ・すべての事業について、指標の貢献度(影響度)を測ることができるものではなく、複数の事業のリンケージ効果により、指標に貢献(影響)する場合もあるのでは。 【事後評価委員会について】 ・委員会の冒頭に、「この計画では当初どのような目的であったのか」を徹底的に明らかにし、委員に良く伝えるべき。 ・4地区(岐阜市まちづくり交付金事業地区)同日に開催したほうがよい。他地区のことも委員に知ってもらおう。
--------	--